

# 修学旅行作文一席

## 小学校の部

### 修学旅行の思い出

別宮小学校市立 玉井栄次

待望の修学旅行、あれほど不安定だった夫気もそのように、雲一つない五日晴れ、まるでよく、うぼくの胸は大きいくらい、気持ちだけがひと足先に別府路についているようであった。

午前十一時、千分、着いた。西大分港にて。まあ、これから夢で、はなくこの目的地の足で別府路を自分のものにして、数々の思いを

## 中学校の部

### 思い出の地「平泉」

東京鶴友学園女子中学校3年

前川京子

修学旅行

思ひ出の地「平泉」

東京鶴友学園女子中学校3年

前川京子

修学旅行

思い出の地「平泉」

東京鶴友学園女子中学校3年

前川京子

修学旅行

思い出の地「平泉

